

# 第15回 フレンドシップサロン

## 知財とAI

— 技術・ビジネス・法制度の交差点 —

### 登壇者紹介



三井金属株式会社 技術本部 知的財産部  
専門担当部長 渡邊 広幸 (Hiroyuki Watanabe)

[講演1、パネルディスカッション:パネリスト]

- 知的財産部にて長年にわたり企業の知財戦略・権利化業務に従事
- 特許・商標・営業秘密を含む知財マネジメント全般を担当
- 研究開発部門・事業部門と連携した知財活用を実践
- 現場実務に即した知財リスク管理と組織運営に精通



和歌山大学  
名誉教授 瀧 寛和 (Hirokazu Taki)

[講演2、パネルディスカッション:パネリスト]

- 三菱電機生産技術研究所にてAIを応用した検査、設計、製造の研究に従事
- 和歌山大学においてAI・情報工学の教育・研究、データ利活用・保護に関する業務に従事
- 大学運営や産学連携にも携わり、情報管理の実務にも精通
- 現在、和歌山大学名誉教授としてSociety5.0の社会実現を推進している
- AI活用時の情報の漏洩や侵害に対する認識が最重要課題です



Seiju国際知財事務所  
所長・弁理士 北村光司 (Koji Kitamura)

[講演3、パネルディスカッション:コーディネーター]

- 1985年大阪大学工学部機械工学科卒業
- 企業開発部・知財事務所勤務を経て1992年弁理士登録、現事務所を開設
- 一般社団法人生産技術振興協会にて、執行理事・アライアンス委員長
- 日本弁理士会にて不正競争防止法委員会・弁理士活性化関連の委員会委員長
- 営業秘密・タイムスタンプを利用した知財戦略を得意とし、関係の講演多数